

海とつながろう！高嶺中学校で「出前講座」を開催しました。

沖縄県は四面を海に囲まれ、物資輸送の多くを海上輸送に依存しており、沖縄県民の生活及び経済活動にとって、安定的な海上輸送を確保することは重要です。この安定的な海上輸送を確保するにあたっては、海上輸送を担う人的基盤である船員の安定的な確保・育成が必要不可欠です。

このため、内閣府沖縄総合事務局運輸部では、船員の仕事に対する興味や関心、将来の進路に役立ててもらうことを目的として、令和2年11月26日（木）糸満市立高嶺中学校において、マスクや体調管理など新型コロナウイルス感染症対策に努めながら出前講座を実施しました。

今回、海についての理解や関心をさらに深めてもらうため、沖縄総合事務局運輸部の出前講座としては初めて、環境省沖縄奄美自然環境事務所と協力して行いました。

当日は、中学2年生42名と、職員5名の計47名が参加し、木富自然保護官による海洋プラスチックごみ問題についての講演や、松元首席海技試験官による環境に優しい船舶や船員の生活について、南海技試験官からは船員になるための今後の進路について説明がありました。ロープワークでは「もやい結び・巻き結び・ひとえつなぎ」を行い、皆さん一生懸命に取り組んでくれました。

出前講座後のアンケートでは、73%の生徒が「海に関する学習について役に立った」、38%が「海の仕事について将来働いてみたい」と回答があり、海事産業への理解醸成を図ることができたのではないかと感じました。

今後とも、総合的な海洋教育を推進し、若年内航船員の人材確保・育成に関する取組みを積極的に行っていきたいと思っております。



【海洋ゴミについて講演】



【休み時間中にも質問】



【ロープワーク実践】

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局 運輸部 船舶船員課

担当者名 玉城・安慶田

TEL：098-866-1838（直通）

FAX：098-860-2236

